



Health ISAC Japan Security Session

厚生労働省安全管理 GL 第 7 版改定から紐解く、国内医療サイバーセキュリティの課題と展望

講師：一般社団法人 Health ISAC Japan 事務局長 江原 悠介

日時：2026 年 7 月 29 日（水）17:00～18:00 Google Meet によるライブ配信

講師略歴

四病院団体協議会や全国保団連、全老健、ドック学会、日本保険医療機関等協会(NHpA)等の医療関係団体、医療 IT 事業者と共同でのセキュリティ調査・レポート活動、各種セミナー講演、国内の医療機関等へのセキュリティパーソナルアドバイス等を通して、国内ヘルスケア分野のセキュリティ向上に向けた教育・啓発活動を行っている。



講演要旨

厚生労働省の安全管理ガイドラインが第 7 版へ改定されたが、この改定内容の多くは 2030 年をターゲットにした医療 DX の流れのなかに位置づけられている。しかしながら、26 年春ごろから過熱の一途を辿るフロンティア AI をめぐるサイバー攻撃リスクの加速度的な高まりに医療分野が直面する状況のなか、第 7 版の改定は 2 省 GL が管轄する医療 IT 事業者に大きなインパクトを与えるものになっている。

他方、医療機関での生成 AI 等の新技術の利活用が令和 8 年度診療報酬改定でも加算要件に含まれ、その導入がより促進されているが、そこでは新技術固有のサイバーセキュリティも含めたリスク管理対策の十分な整理は進んでいない状況である。

今回の講演ではこのような関連動向・状況も踏まえ、第 7 版の改定を「点」でなく、「線」として捉える観点より、第 7 版の解説を起点として、現在の国内医療サイバーセキュリティにおける課題と対応の方向性を解説する。

以上